

平成 28 年度（福）ふじみ野福祉社会事業報告

現状及び課題

平成 28 年度、法人本部においては年間 5 回の理事会・評議員会を開催し様々な議案を審議しました。議案の 1 つとして、社会福祉法人制度改革の準備のため、定款や諸規則の改正等を行いました。また、特養入所の需要は依然として高い一方で短期入所の需要は減りつつあるため、平成 29 年 4 月 1 日実施に向けて、特養は 70 名から 73 名、短期 14 名から 11 名の定員変更が認可されました。

生活課においては、昨年度からの課題であった食事時の姿勢保持が改善されたため、誤嚥を起こすことが少なくなりました。また、入職者への研修も充実しつつあります。しかし、冬季にはインフルエンザが流行し感染症対策に課題を残してしまいました。

地域課においては、デイサービスでは昨年度から実施した機能訓練が定着した 1 年となりました。訪問介護では職員手作りの誕生日プレゼントが好評でした。居宅では在宅生活の継続を念頭にケアプランを作成し、包括では認知症（オレンジ）カフェを引続き実施しました。

地域支援課においては、特養ではケースカンファレンスを基に情報の共有と職員の連携、小多機においては特に訪問が充実した 1 年となりました。居宅では困難ケースを積極的に受け入れた結果、医療機関等からの相談も増えつつあります。包括では本体施設同様に認知症（オレンジ）カフェを引続き実施しました。

管理課においては、ストレスチェック制度の実施によりメンタルヘルスの大切さが周知できました。

栄養課においては、多くの季節行事食を提供し好評を得ています。

事業計画に対して残された課題はありましたが、法人本部、各課が下記の事業を実施してきましたのでここに報告します。

1 法人本部

2 か年計画を基に理事会・評議員会にて下記の議案を審議しました。

回数 時期	理 事 会	評 議 員 会	監 事 監 査	議 案
5/16			○	平成 27 年度事業報告・決算報告に対する監事監査
第 1 回 5/26		○		1. 平成 27 年度事業報告及び決算報告について 2. ストレスチェック制度実施規程について 3. 就業規則一部改正について 4. パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正について 5. 第 1 次補正予算書について

第2回 7/20	○	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉施設等施設整備費県費補助（負担）金等に係る財産処分について 2. 給与・退職金規程一部改正について
第3回 12/2	○	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第2次補正予算書について 2. 育児休業等に関する規則一部改正について 3. 介護休業等に関する規則一部改正について 4. パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正について 5. 定款一部改正について 6. 建物維持管理委託の入札について 7. 紙おむつの入札について 8. 寝具の入札について 9. 機械浴槽の入札について
第4回 1/31		○	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建物維持管理委託の入札結果について 2. 紙おむつの入札結果について 3. 寝具の入札結果について 4. 機械浴槽の入札結果について 5. 照明・空調設備改修事業について 6. パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正について
第4回 1/31	○		<ol style="list-style-type: none"> 1. 建物維持管理委託の入札結果について 2. 紙おむつの入札結果について 3. 寝具の入札結果について 4. 機械浴槽の入札結果について 5. 照明・空調設備改修事業について 6. 評議員選任・解任委員会運営細則について 7. 役員等の報酬等に関する規程一部改正について 8. 評議員選任・解任委員会の委員選任について 9. パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正について
第5回 3/15		○	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護職員処遇改善手当支給について 2. 平成28年度予算書第3次補正予算について 3. 老人ホーム入所定員増加認可申請書等の提出について 4. 運営規程一部改正について (特養・ショート・デイ・ヘルパー) 5. 利用契約書一部改正について (デイ・ヘルパー・包括) 6. 重要事項説明書一部改正について (特養・ショート・デイ・ヘルパー・居宅・包括・地域特養・小多機) 7. 就業規則一部改正について 8. 平成29年度施設長給与の格付について 9. 平成29年度事業計画並びに予算書について

			10.定款施行細則一部改正について 11.理事長等の専決事項に関する定款細則一部改正について
第5回 3/15	○		1. 介護職員処遇改善手当支給について 2. 平成28年度予算書第3次補正予算について 3. 老人ホーム入所定員増加認可申請書等の提出について 4. 運営規程一部改正について (特養・ショート・デイ・ヘルパー) 5. 利用契約書一部改正について (デイ・ヘルパー・包括) 6. 重要事項説明書一部改正について (特養・ショート・デイ・ヘルパー・居宅・包括・地域特養・小多機) 7. 就業規則一部改正について 8. 平成29年度施設長給与の格付について 9. 平成29年度事業計画並びに予算書について 10.定款施行細則一部改正について 11.理事長等の専決事項に関する定款細則一部改正について 12.評議員候補者(案)について 13.役員等の報酬に関する規程一部改正(案)について

2 管理課

総合目標及び課題

- ・職員のキャリアアップをするために、業務のローテーションを実施します。
- ・マイナンバーに関わる事務を実施します。
- ・委員会の中では特に衛生委員会で、ストレスチェックを実施します。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ショブローテーション	① 業務を変更するまでは至りませんでした。職員同士どのような業務を行っているか確認できました。 引き続き翌年度も継続していきます。 ② 業務を職員同士で確認し合えたため、効率よく仕事が進みました。
(2) 職員採用	① 積極的にインターネット媒体を使用し、説明会等を行いました。 ② 新卒の介護職員は見学や面接まで行うことができましたが、採用するまでには至りませんでした。
(3) マイナンバー制度対応	① 法令に従い、マイナンバーの管理を行いました。 ② 職員からは採用時に提出してもらい、事務処理を進めました。 ③ 行政機関等にスムーズに情報提供をいたしました。

(4) 衣類の名前の確認	① 衣類を綺麗にたたみ、ご利用者様にお渡ししました。 ② 間違えることなく、衣類の配布をしました。 ③ 洗濯前に衣類に物が入っていない事を確認しました。
--------------	--

委員会

・合同研修委員会

重点目標及び課題	成果等																																																									
(1) 内部研修の計画的実施	<p>今年度は以下のとおり、内部研修を実施しました。</p> <p>① 課長・管理者研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>研修内容</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月29日</td> <td>むさしのらしさの再発見 施設長オリエンテーションの実際</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>10月31日</td> <td>経理資料の見方</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>11月28日</td> <td>行動基準書の評価基準について①</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>11月25日</td> <td>行動基準書の評価基準について②</td> <td>ひだまり</td> </tr> </tbody> </table> <p>② リーダー研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>研修内容</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月22日</td> <td>むさしのらしさの再発見 施設長オリエンテーションの実際</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>10月24日</td> <td>OJT 確認票の活用方法</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>11月21日</td> <td>OJT 確認票を用いてのロールプレイ①</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>12月12日</td> <td>OJT 確認票を用いてのロールプレイ②</td> <td>ひだまり</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 全職員対象研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>研修内容</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月23日</td> <td rowspan="2">身体拘束廃止研修</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>6月24日</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>5月18・30日</td> <td rowspan="2">介護職員への褥瘡予防対策研修</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>5月19日・6月1日</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>4月7日～4月20日</td> <td>感染症対策研修</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>3月21日</td> <td rowspan="2">事故発生防止研修</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>3月22日</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>入浴場において適宜実施</td> <td>浴室において実施した入浴事故防止研修</td> <td>むさしの ひだまり</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	研修内容	場 所	8月29日	むさしのらしさの再発見 施設長オリエンテーションの実際	むさしの	10月31日	経理資料の見方	ひだまり	11月28日	行動基準書の評価基準について①	むさしの	11月25日	行動基準書の評価基準について②	ひだまり	月 日	研修内容	場 所	8月22日	むさしのらしさの再発見 施設長オリエンテーションの実際	むさしの	10月24日	OJT 確認票の活用方法	ひだまり	11月21日	OJT 確認票を用いてのロールプレイ①	むさしの	12月12日	OJT 確認票を用いてのロールプレイ②	ひだまり	月 日	研修内容	場 所	6月23日	身体拘束廃止研修	ひだまり	6月24日	むさしの	5月18・30日	介護職員への褥瘡予防対策研修	むさしの	5月19日・6月1日	ひだまり	4月7日～4月20日	感染症対策研修	ひだまり			むさしの	3月21日	事故発生防止研修	ひだまり	3月22日	むさしの	入浴場において適宜実施	浴室において実施した入浴事故防止研修	むさしの ひだまり
月 日	研修内容	場 所																																																								
8月29日	むさしのらしさの再発見 施設長オリエンテーションの実際	むさしの																																																								
10月31日	経理資料の見方	ひだまり																																																								
11月28日	行動基準書の評価基準について①	むさしの																																																								
11月25日	行動基準書の評価基準について②	ひだまり																																																								
月 日	研修内容	場 所																																																								
8月22日	むさしのらしさの再発見 施設長オリエンテーションの実際	むさしの																																																								
10月24日	OJT 確認票の活用方法	ひだまり																																																								
11月21日	OJT 確認票を用いてのロールプレイ①	むさしの																																																								
12月12日	OJT 確認票を用いてのロールプレイ②	ひだまり																																																								
月 日	研修内容	場 所																																																								
6月23日	身体拘束廃止研修	ひだまり																																																								
6月24日		むさしの																																																								
5月18・30日	介護職員への褥瘡予防対策研修	むさしの																																																								
5月19日・6月1日		ひだまり																																																								
4月7日～4月20日	感染症対策研修	ひだまり																																																								
		むさしの																																																								
3月21日	事故発生防止研修	ひだまり																																																								
3月22日		むさしの																																																								
入浴場において適宜実施	浴室において実施した入浴事故防止研修	むさしの ひだまり																																																								

(2) 入職者研修の計画的実施	<p>① 入職者研修は下記の研修を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長オリエンテーション・管理課オリエンテーション・配属先 OJT・看護研修・リハ研修・防災研修・他課研修 <p>② 外部研修は埼玉県社協等各職種の研修に多くの職員が参加し、キャリアアップに努めました。</p>
-----------------	---

・広報委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 施設の紹介	① 充実した内容の広報誌を提供できました。
(2) 行事の紹介	② 行事写真を重点的に載せ、施設での取り組みを掲載しました。

・防災委員会

重点目標及び課題	成果等																																		
(1) 防災訓練の実施	<p>① 利用者の生命と身体の安全を最優先に不測の災害に対応するよう毎月計画を立て、消火、避難訓練、緊急に備えた心肺蘇生法をひだまり合同で実施しました。</p> <p>② 地域合同防災訓練は、多くの地域の皆さんに参加いただき、むさしのでは9月25日、ひだまりでは11月19日に地域の皆さんと不時の災害時に備え、テントをはり、釜でご飯を炊き、炊き出しを行いました。各地区町会の皆さん、職員共に協力して行いました。</p> <p>防災訓練予定表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">NO</th> <th style="width: 15%;">訓練日</th> <th style="width: 55%;">訓練内容</th> <th style="width: 25%;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>4月14日</td> <td>消火訓練（消火器）ひだまり</td> <td>職員 15名</td> </tr> <tr> <td>4月20日</td> <td>消火訓練（消火器）むさしの</td> <td>職員 18名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>5月8日</td> <td>災害時訓練（停電）むさしの</td> <td>職員・利用者 100名</td> </tr> <tr> <td>5月15日</td> <td>災害時訓練（停電）ひだまり</td> <td>職員・利用者 60名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6月24日</td> <td>避難訓練（消火・避難・通報） むさしの</td> <td>職員・利用者 100名</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7月13日</td> <td>夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの</td> <td>職員・利用者 30名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9月25日</td> <td>地域合同防災訓練消火訓練 （炊き出し） むさしの</td> <td>職員 11名 地域の皆さん 53名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月19日</td> <td>地域合同防災訓練消火訓練 （炊き出し） ひだまり</td> <td>職員 13名 地域の皆さん 6名</td> </tr> </tbody> </table>	NO	訓練日	訓練内容	参加者	1	4月14日	消火訓練（消火器）ひだまり	職員 15名	4月20日	消火訓練（消火器）むさしの	職員 18名	2	5月8日	災害時訓練（停電）むさしの	職員・利用者 100名	5月15日	災害時訓練（停電）ひだまり	職員・利用者 60名	3	6月24日	避難訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 100名	4	7月13日	夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 30名	5	9月25日	地域合同防災訓練消火訓練 （炊き出し） むさしの	職員 11名 地域の皆さん 53名	6	11月19日	地域合同防災訓練消火訓練 （炊き出し） ひだまり	職員 13名 地域の皆さん 6名
NO	訓練日	訓練内容	参加者																																
1	4月14日	消火訓練（消火器）ひだまり	職員 15名																																
	4月20日	消火訓練（消火器）むさしの	職員 18名																																
2	5月8日	災害時訓練（停電）むさしの	職員・利用者 100名																																
	5月15日	災害時訓練（停電）ひだまり	職員・利用者 60名																																
3	6月24日	避難訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 100名																																
4	7月13日	夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 30名																																
5	9月25日	地域合同防災訓練消火訓練 （炊き出し） むさしの	職員 11名 地域の皆さん 53名																																
6	11月19日	地域合同防災訓練消火訓練 （炊き出し） ひだまり	職員 13名 地域の皆さん 6名																																

(2) 防災訓練への全職員の参加及び、職員への周知徹底	7	11月19日	避難訓練（消火・避難・通報） ひだまり	職員・利用者 60名
	8	11月16日	応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED 使用法）	職員 15名
		1月20日	応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED 使用法） 応急救護訓練	職員 12名
	① 皆が参加できるよう早めに計画をたて、各課に役割を指示し、直前に声かけをし、担当者の確認、打ち合わせをしました。毎年、毎月行っていますが28年度は毎月行うことができませんでした。			

・衛生委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 職員の健康管理	① 毎月の委員会内で労働災害を確認しました。 ② 労働災害が確認された際は対策案等を話し合いました。労働災害事案には軽微なものが多かった為、大きな対策案を練ったものではありませんでした。
(2) ストレスチェックの実施	③ 平成29年2月24日の委員会内で検討会を行いました。具体的な対策を決めるまでには至りませんでした。 ① 平成28年度中にストレスチェックの実施から報告までを行いました。

3 生活課

総合目標及び課題

- ・ 接遇を意識し笑顔で優しく寄り添い、安心安楽な介護サービスを実施し事故予防に努めます。
- ・ 清潔で温かく心地よい生活が送れるよう支援します。

介護

重点目標及び課題	成果等
(1) 個別支援の統一	<p>① 書面や口頭での引継ぎが中心でしたが、ある程度の情報共有は実施しました。伝達経路整備の必要性の有無を含め、適切な共有方法を行いました。</p> <p>② サービス評価への取り組み意識が見え、一定の成果はあげられたと感じました。より多くの評価ができるように職員の意識向上を図りました。</p>
(2) 安全な食事介助	<p>① 椅子への座り替えやクッションを使用した姿勢保持は継続して実施しました。体の歪みや頸部後屈等の身体的要因で姿勢保持が困難な方に対してのアプローチが難しかったので、専門職と連携して実践しました。</p> <p>② 利用者の状態に合わせ迅速な食事形態の変更を行いました。食事時の誤嚥等の大きな事故がなく安全に食事提供をすることができました。誤嚥に対する職員の意識も向上しており、摂取しにくい食品は適宜、細かく刻むなど柔軟な対応ができたことも事故防止に繋がったと考えています。</p>
(3) 職員のスキルアップ	<p>① 新入職員対象の実地研修を実施しました。今課題として、新入職員を含め介護職員全体が受講できるような体制を整えています。</p> <p>② 職員希望・要望に沿った内容の研修を実施することが困難でした。その中で個人間での指導や意見集約の方法を検討し指導しました。</p>
(4) 生活余暇への取り組み	<p>① 行事やボランティアの余暇を定期的に実施しました。個別ニーズにそった実施も少人数での実施になりました。</p>

(5) 年間諸行事

	行事名	内容	対象者	実施場所
4/7	行事食	稲荷寿司、太巻きセットを召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
4/19	行事食	昼食にのり弁当を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
5/5	端午の節句	鯉のぼりを作成し、写真撮影を行う。	2、3階利用者	2階：中央ホール 3階：各ユニット
5/24	行事食	昼食に鶏そぼろ弁当を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
6/1	外出	買い物やフードコートでのおやつを楽しむ	3階利用者	ららぽーと

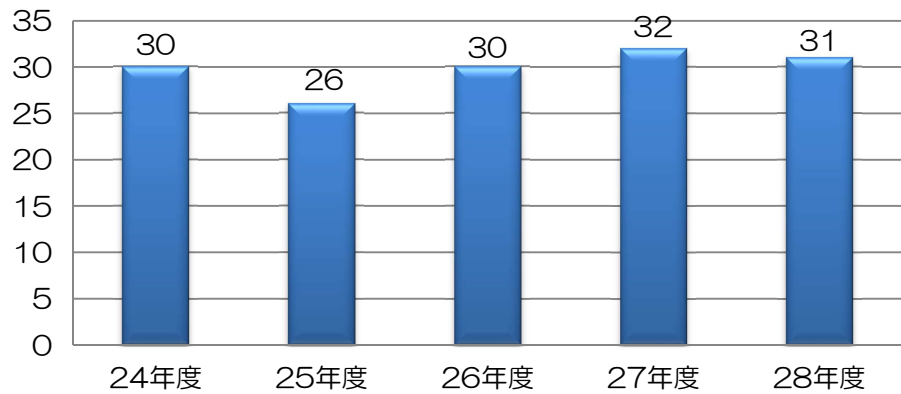
	行事	む。		富士見
6/9	行事食	昼食にカニちらし寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
7/7	七夕	短冊作成や歌を唄い、皆さんで写真撮影を行う。	2階利用者	中央ホール
7/7	七夕	短冊の願い事を披露し、皆さんで写真撮影を行う。	3階利用者	中央ホール
7/30	納涼祭	太鼓やお神輿、職員余興（ソーラン節）を楽しんで頂く。食事は豪華な屋台風の行事食。	2、3階利用者	施設敷地内
8/14	行事食	昼食に精進揚げを召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
8/31	行事食	昼食にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
9/17	長寿を祝う会	年寿者のお祝いをし、昼食は豪華な祝い膳をご家族と一緒に召し上がる。利用者の皆さんにプレゼントの贈呈。	2、3階利用者	各階中央ホール
10/4	行事食	昼食に太巻き寿司と江戸前寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
11/1	行事食	昼食にのり弁当を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
11/21	鍋行事	昼食にきのこたっぷりのけんちん汁を召し上がる。	ふじ利用者	ふじユニット食堂
11/22	鍋行事	昼食にきのこたっぷりのけんちん汁を召し上がる。	きく利用者	きくユニット食堂
11/25	鍋行事	昼食にきのこたっぷりのけんちん汁を召し上がる。	ゆり利用者	ゆりユニット食堂
11/28	鍋行事	昼食にきのこたっぷりのけんちん汁を召し上がる。	さくら利用者	さくらユニット食堂
11/29	鍋行事	昼食にきのこたっぷりのけんちん汁を召し上がる。	もみじ利用者	もみじユニット食堂
11/30	鍋行事	昼食にきのこたっぷりのけんちん汁を召し上がる。	きり利用者	きりユニット食堂
12/5	ユニット喫茶	各ユニットで喫茶室風の雰囲気を楽しむ。コーヒーやジュース、パフェ・ケーキを召し上がる。	利用者	ユニット食堂
12/6	行事食	昼食にカニちらし寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
12/9	ユニット喫茶	各ユニットで喫茶室風の雰囲気を楽しむ。コーヒーやジュース、パフェ・ケーキを召し上がる。	利用者	ユニット食堂
12/12	ユニット喫茶	各ユニットで喫茶室風の雰囲気を楽しむ。コーヒーやジュース、パフェ・ケー	利用者	ユニット食堂

		キを召し上がる。		
12/17	もちつき	ご家族と一緒に餅つきを行い、昼食はつきたてのお餅を召し上がる。	2、3階利用者	各階中央ホール
12/22	クリスマス	昼食にクリスマスにちなんだ豪華な食事を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
12/31	大晦日	夕食に年越しそばを召し上がり、年の瀬を振り返る。	2、3階利用者	各ユニット食堂
1/1～ 1/3	お正月	おせち料理や雑煮・お寿司・天ぷらなどを召し上がり、新年を皆さんでお祝いする。	2、3階利用者	各ユニット食堂
1/15	新年会	職員・ボランティア余興を楽しみ、ご家族と一緒に新年のお祝いをする。	2、3階利用者	各階中央ホール
1/20	ユニット喫茶	各ユニットで喫茶室風の雰囲気を楽しむ。コーヒーやジュース、パフェ・ケーキを召し上がる。	利用者	ユニット食堂
1/23	ユニット喫茶	各ユニットで喫茶室風の雰囲気を楽しむ。コーヒーやジュース、パフェ・ケーキを召し上がる。	利用者	ユニット食堂
1/27	ユニット喫茶	各ユニットで喫茶室風の雰囲気を楽しむ。コーヒーやジュース、パフェ・ケーキを召し上がる。	利用者	ユニット食堂
2/3	節分	豆まきをし、一年間の無病息災を願う。昼食は特別献立の食事を召し上がる。	2、3階利用者	各階中央ホール
3/3	雛祭り	雛壇を前に歌や写真撮影を行い、春の季節を感じて頂く。	2、3階利用者	各階中央ホール
3/14	行事食	昼食にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂

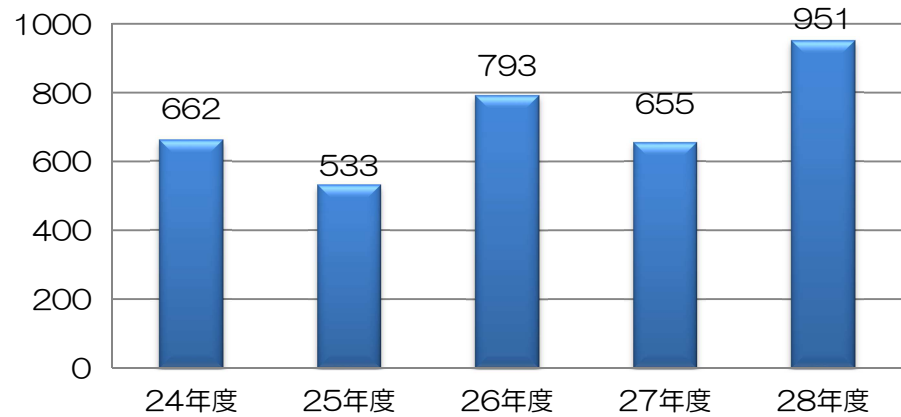
看護

重点目標及び課題	成果等
(1) 日常生活の体調・健康の管理	① 利用者の健康状態を把握することにより、早期に異常の発見・対応をすることができました。今年度はインフルエンザの流行に伴い受診・入院件数が増加しましたが、その時期を除けば減少傾向にあると思います。しかし、年々高齢化している為、入院中に亡くなる方や、医療頻度が高くなり退所するケースが増え、施設での看取りが減少する傾向がみられました。

延べ入院者数



延べ入院日数



(2) 他職種との連携強化及びケアの統一

- ② 早期異常の発見・対応は、個人差はありますが医療教育の実施ができました。その個人差の解消のため異常発見時等にも職員への医療教育の実施もしました。
- ① 医療面での支援方法は随時紙面と口頭で行い、同じ水準でのサービス提供ができるように指導しました。
- ② 情報提供や支援方法など随時各職種に引き継ぎは行っていますが、きちんと伝わっているか、実行されているかの確認ができませんでした。その中でも、情報の共有できる時間・ミニカンファレンスなどの実施をしました。

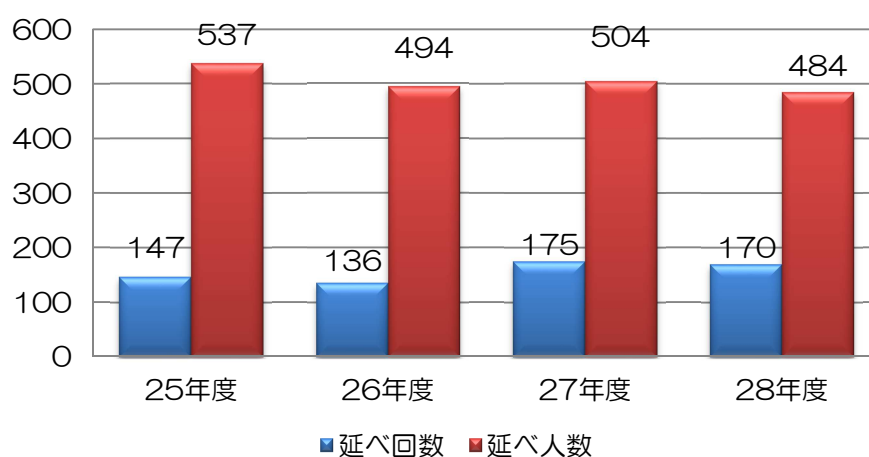
相談

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の維持・向上に向けた取り	① 特養の年間平均稼働率は 94.1%となり年間目標稼働率の達成には至りませんでした。年間通しての入院日数合計では 951 日と昨年度より大幅に

<p>組み</p>	<p>増加して長期化してしまった事、また下半期の退所者に対する待機者確保に苦慮し空床日数が増加しました。入所申込者に対してもある程度整理できました。</p> <p>② 短期入所生活介護の年間平均稼働率は 67.1%と年間目標稼働率には至りませんでした。定期の利用者の中には、施設入所になってしまった例や各個人での単発的な利用となってしまった例もあり、新規の利用者の獲得を行うもその後の利用日数増加が見込めず、稼働率低下の原因となりました。全体的に短期入所生活利用者自体が減っていますが新規利用者は年間 38 名の受け入れをしました。事業所には継続的に空床情報や営業活動実施しました。</p> <p>③ 面接時には現病歴及び過去 5 年間の利用者の入院歴の聞き取りを実施し判定委員会内にて報告しました。入所後のサービス向上や受診時の医師への報告も行い、利用者に利益ある報告をしました。</p>																														
<p>(2) 利用者本位のケアプラン作成及び説明の実施</p>	<p>① 日頃の関わりの中で利用者本人やご家族より希望を伺うことで、より希望に近いケアプランの作成を行いました。また各セクション内でも利用者一人一人の状態について話し合い、それに基づいたケアプランの作成を行いました。</p> <p>② 利用者のアセスメントを行うにあたり、各会議内で話し合いの場を設け、各職種にて利用者一人一人に対してアセスメントを実施しました。作成したサービス内容説明について、生活に対しての共通認識及び、十分に理解を得られるよう継続的に実施しました。</p>																														
<p>(3) 生活を充実させるボランティアの積極的な受け入れ</p>	<p>① 新規のボランティアとしては 2 団体のみとなっています。既存のボランティアに活動して頂きましたが、施設側の都合にて受け入れを中止した時期もあり、去年より活動回数等少なくなっていました。その中でも各団体には連絡をし、日程変更などを積極的に行いました。</p>																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>活動回数 (回)</th> <th>延べ人数 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラオケクラブ</td> <td>10</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>音楽クラブ</td> <td>16</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>大正琴クラブ</td> <td>11</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>お茶クラブ</td> <td>12</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>直利会</td> <td>3</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>傾聴ボランティア</td> <td>23</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>ハーフトーンズ</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ハッピー演歌塾</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>花子の会</td> <td>6</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>		クラブ名	活動回数 (回)	延べ人数 (名)	カラオケクラブ	10	40	音楽クラブ	16	25	大正琴クラブ	11	55	お茶クラブ	12	60	直利会	3	30	傾聴ボランティア	23	44	ハーフトーンズ	1	6	ハッピー演歌塾	6	6	花子の会	6	24
クラブ名	活動回数 (回)	延べ人数 (名)																													
カラオケクラブ	10	40																													
音楽クラブ	16	25																													
大正琴クラブ	11	55																													
お茶クラブ	12	60																													
直利会	3	30																													
傾聴ボランティア	23	44																													
ハーフトーンズ	1	6																													
ハッピー演歌塾	6	6																													
花子の会	6	24																													

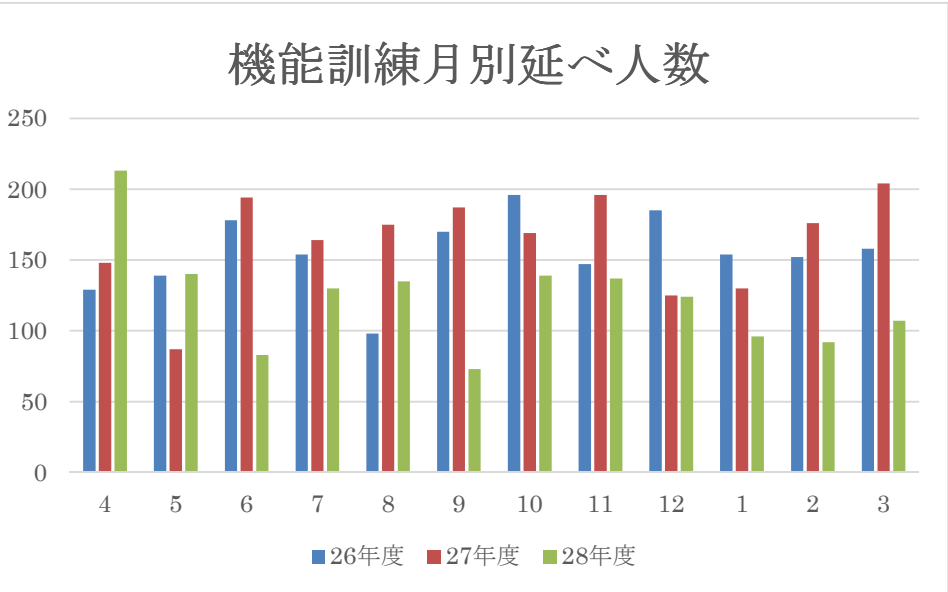
大人の折り紙クラブ	20	20
どじょっ子会（新規）	1	3
生活支援	46	46
富士見太鼓（納涼祭）	1	15
大井チンドン一座（納涼祭）	1	10
明るい社会づくり	12	96
歌謡バンドプラチナ（新規）	1	4
合計	170回	484名

ボランティア延べ回数・人数



- ② 各ボランティアに「ボランティア保険」の加入を促し、安心安全に活動して頂けるよう援助しました。また、活動後に活動記録を記入して頂くことで、ボランティア側の要望等も確認することができ、ボランティア側及び利用者の利益になるよう活動をして頂きました。今年度3月も、年間を通して活動して頂いたボランティアを対象に「ボランティア感謝の集い」を施設にて開催し、一年間の感謝と親睦を深めました。団体・個人を合わせ25クラブ、81名の参加がありました。
- ③ 施設として、地域での行事に参加することで地域の方々との関わりを増やすことができました。また、近隣の保育園の園児の慰問等の受け入れを行い、利用者の喜ぶ姿を見ることができました。

リハビリ

重点目標及び課題	成果等																																																																																																																																								
(1) チームケアの質の向上	<p>① ケアプラン、他職種の意見を聞き、リハビリ計画書を作成できました。</p> <p>② 全介護職員の研修実施はできなかったが、新入職員との研修は実施しています。</p> <p><28年度リハビリ実施人数一覧></p> <table border="1" data-bbox="518 517 1406 1279"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日数</th> <th>2F</th> <th>3F</th> <th>合計</th> <th>平均延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>17</td><td>88</td><td>125</td><td>213</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>5月</td><td>18</td><td>58</td><td>82</td><td>140</td><td>7.7</td></tr> <tr><td>6月</td><td>17</td><td>19</td><td>64</td><td>83</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>7月</td><td>17</td><td>53</td><td>77</td><td>130</td><td>7.6</td></tr> <tr><td>8月</td><td>18</td><td>65</td><td>70</td><td>135</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>9月</td><td>18</td><td>38</td><td>35</td><td>73</td><td>4</td></tr> <tr><td>10月</td><td>17</td><td>84</td><td>55</td><td>139</td><td>8.1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>17</td><td>86</td><td>51</td><td>137</td><td>8</td></tr> <tr><td>12月</td><td>17</td><td>77</td><td>47</td><td>124</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>1月</td><td>16</td><td>52</td><td>44</td><td>96</td><td>6</td></tr> <tr><td>2月</td><td>16</td><td>38</td><td>54</td><td>92</td><td>5.7</td></tr> <tr><td>3月</td><td>18</td><td>44</td><td>63</td><td>107</td><td>5.9</td></tr> <tr><td>合計</td><td>206日</td><td>702</td><td>767</td><td>1469</td><td>7.1</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">機能訓練月別延べ人数</p>  <table border="1" data-bbox="480 1294 1433 1883"> <caption>機能訓練月別延べ人数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>130</td><td>150</td><td>215</td></tr> <tr><td>5</td><td>140</td><td>90</td><td>140</td></tr> <tr><td>6</td><td>180</td><td>195</td><td>85</td></tr> <tr><td>7</td><td>155</td><td>165</td><td>130</td></tr> <tr><td>8</td><td>100</td><td>175</td><td>135</td></tr> <tr><td>9</td><td>170</td><td>185</td><td>75</td></tr> <tr><td>10</td><td>195</td><td>170</td><td>140</td></tr> <tr><td>11</td><td>145</td><td>195</td><td>135</td></tr> <tr><td>12</td><td>185</td><td>125</td><td>125</td></tr> <tr><td>1</td><td>155</td><td>130</td><td>95</td></tr> <tr><td>2</td><td>150</td><td>175</td><td>90</td></tr> <tr><td>3</td><td>155</td><td>205</td><td>105</td></tr> </tbody> </table>	月	日数	2F	3F	合計	平均延べ人数	4月	17	88	125	213	12.5	5月	18	58	82	140	7.7	6月	17	19	64	83	4.8	7月	17	53	77	130	7.6	8月	18	65	70	135	7.5	9月	18	38	35	73	4	10月	17	84	55	139	8.1	11月	17	86	51	137	8	12月	17	77	47	124	7.2	1月	16	52	44	96	6	2月	16	38	54	92	5.7	3月	18	44	63	107	5.9	合計	206日	702	767	1469	7.1	月	26年度	27年度	28年度	4	130	150	215	5	140	90	140	6	180	195	85	7	155	165	130	8	100	175	135	9	170	185	75	10	195	170	140	11	145	195	135	12	185	125	125	1	155	130	95	2	150	175	90	3	155	205	105
月	日数	2F	3F	合計	平均延べ人数																																																																																																																																				
4月	17	88	125	213	12.5																																																																																																																																				
5月	18	58	82	140	7.7																																																																																																																																				
6月	17	19	64	83	4.8																																																																																																																																				
7月	17	53	77	130	7.6																																																																																																																																				
8月	18	65	70	135	7.5																																																																																																																																				
9月	18	38	35	73	4																																																																																																																																				
10月	17	84	55	139	8.1																																																																																																																																				
11月	17	86	51	137	8																																																																																																																																				
12月	17	77	47	124	7.2																																																																																																																																				
1月	16	52	44	96	6																																																																																																																																				
2月	16	38	54	92	5.7																																																																																																																																				
3月	18	44	63	107	5.9																																																																																																																																				
合計	206日	702	767	1469	7.1																																																																																																																																				
月	26年度	27年度	28年度																																																																																																																																						
4	130	150	215																																																																																																																																						
5	140	90	140																																																																																																																																						
6	180	195	85																																																																																																																																						
7	155	165	130																																																																																																																																						
8	100	175	135																																																																																																																																						
9	170	185	75																																																																																																																																						
10	195	170	140																																																																																																																																						
11	145	195	135																																																																																																																																						
12	185	125	125																																																																																																																																						
1	155	130	95																																																																																																																																						
2	150	175	90																																																																																																																																						
3	155	205	105																																																																																																																																						

(2) 身心の活性化	① 参加者多数ではありませんでしたが、月1回のレクリエーションを実施し、生活の活性化に繋げることができました。 ② 集団リハビリとして体操を実施したのは9回程度で、延べ47名が参加しました。		
	実施日	月一レクレーション内容	参加者
	4/28	鯉のぼりの壁掛けを制作	利用者 5名
	5/30	紫陽花を立体的に作り吊るす	利用者 5名 SS 利用者 2名
	6/30	納涼祭の飾り作り 紙細工制作	利用者 5名 SS 利用者 1名
	7/19	納涼祭の飾り作り 和紙に絵具で色つけ	利用者 5名
	10/24	大きな屏風に紅葉を描く	利用者 3名
	11/28	クリスマスリースの制作	利用者 3名
	12/29	習字にて干支を書き屏風制作	利用者 6名 SS 利用者 1名
	1/26	節分に向け鬼の顔で福笑い	利用者 6名 SS 利用者 1名
	2/16	吊るし雛制作	利用者 4名
	3/14	桜まつりの看板作り	利用者 3名

・安全委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 報告書の周知徹底に対する対策及び事故防止への取り組み	① フロア会議や委員会で、月2回以上報告があった利用者の状態を見直し速やかに対応・改善を行いました。 ② 報告から、どのような事故の可能性があるか推測し、必要に応じて離床センサーを設置し、見守りの徹底を図りました。 ③ 報告書は引き継ぎノートやユニットリーダーからも告知し、職員への周知を行いました。

・排泄委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 利用者に適合したオムツ選定と誘導方法の実施	① 新規本入所の方や時期に応じた尿量を把握しその都度変更しました。個人に適合したパット等の選定を行いました。その中で変更に伴うパット表の更新や周知が遅れてしまうことがありました。今後迅速な対応が課題となっています。誘導方法については職員全体で引き継ぎを実施し、個人に合わせたトイレ誘導等を行いました。
(2) 自然排便への継続した支援の実施	① 可能な限り利用者に合わせてトイレ・ポータブルトイレでの介助ができました。 ② サンファイバー（食物繊維）の効果は利用者ごとにムラがありましたが、検討を実施し個人に合わせて1日の使用量(回数)を決めて行いました。
(3) 職員のスキル向上	① パット等の使用方法について、実施研修を行うことは困難ではありましたが、個別指導を都度実施しました。 ② 介助方法については、引継ファイルを活用し共有する事ができました。書面のみ通知の部分もありましたが、職員全員で統一したサービス提供を行いました。

・入浴委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 安全な入浴介助への取り組み(転落・転倒)	① 大きな事故等なく、安全に入浴して頂くことができました。今後も継続して、利用者に合った入浴方法や職員による安全な入浴介助を行えるように支援します。 ② 職員間の連携を行い、声を掛け合いながら安全な入浴を実施しました。利用者の安全を考え、職員間の連携の重要性に重点を置いた引き継ぎもできました。
(2) 利用者状況に合った入浴支援	① 利用者の日々の状態やADLに合わせた入浴を実施するため、入浴委員間で話し合い、その都度変更など行いました。 ② 1人で行うことが難しい場合には、周りの職員に声をかけ、協力して無理なく安全に入浴介助を行いました。
(3) 感染症対策	① 既存の感染症マニュアルの新たな更新については検討実施するも完成には至りませんでした。不安な転倒は都度看護師などから情報を収集し引き継ぎました。 ② 個人として、使用した物が適切か否か、準備や清潔面、安全面などで配慮しました。

・食事委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 誤嚥・窒息の予防	① 誤嚥防止マニュアルを配布しました。周知が不十分な部分もありましたが、事故予防に努めました。 ② 施設内研修の開催はできませんでしたが、手順書の作成により誤嚥・窒息時の対応や食事時の姿勢や注意点の周知ができました。
(2) 口腔体操の継続実施	① 定期的な実施は困難でしたが、上半期は比較的实施できました。新たな課題が発生した際にも、委員会内で話し合い、継続することが出来ました。

・整容委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 感染症流行時の環境整備	① 感染症流行期にアルコール消毒、換気を行う時間をアナウンスしました。 ② 感染症流行期に各ユニット、各階エレベーターホール前、加湿器の設置し、加湿器の掃除を行いました。 ③ 毎週土曜日に次亜鉛素酸ナトリウム液とその容器の交換を行いました。
(2) 清潔な環境整備の実施	① 毎週のリネン交換、奇数月によるベットマットレスや枕交換等、定められた、週や月で行い清潔保持しました。 ② 利用者が離床した際、シーツのしわを伸ばす等、環境整備も行いました。

・身体拘束廃止に向けた検討委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 言葉の拘束についてのマニュアル作成	① 毎回の委員会でマニュアル作成を行なってきましたが、場面3までの作成となりました。委員会内で都度検討するなど委員の意識変化はできました。 ② 委員会にて、ロールプレイングの内容等、検討や話し合うことは時間を多くとりできましたが、実施には至りませんでした。
(2) 高齢者の尊厳について学ぶ	① この項目は委員会において全く未実施ですが、マニュアル作成を行う中、尊厳について再認識し学ぶことはできました。

生計困難者に対する相談支援事業

総合目標及び課題

- ・社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に訪問相談等を行い、必要なサービスに繋ぐことをします。そして、生活保護等での既存制度では対応できない方

で、経済的困窮により医療や介護サービスの利用が滞りされている場合、その費用等の全部または一部を支援する経済的援助を行います。

重点目標及び課題	成果等
(1) 担当相談員の配置 並びに相談活動	① 社会福祉法人の一使命として、生活困窮者に対する支援事業を実施しました。引き続き、担当相談員を配置し、依頼があった課題は解決をしました。
(2) 経済的援助	① 援助実績として2件の相談及び支援依頼を受けました。相談依頼があった際は迅速に施設長に報告をしました。 ② 相談のみの案件は援助実施には至らず終結しました。もう1件は施設長に報告後、ご本人との面談を実施・内容報告をし、経済的援助を行いました。
(3) 研修会への参加	① 相談員の調整不足もあり研修に参加できませんでした。各方面からの情報収集などは積極的に行いました。 ② 養成研修の参加までは至りませんでした。今後も引き続き、相談支援の流れ・訪問と相談・経済的援助の必要性の検討・施設長決裁・経済的・精神的援助の実施方法などのスキル向上に努めます。

4 地域課

総合目標及び課題

- ・ 総合事業の開始に向けて、スムーズに移行できるように各事業が連携を取って準備を進めます。
- ・ 利用者の尊厳ある生活を各事業の特色を活かしながら支援を行います。

デイサービスセンター

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 介護予防の取り組み	<p>① 月・水・金・土曜日の週4回、機能訓練のサービスを実施しました。利用実人数は月10人前後で1日あたり4～5名の参加となっています。今年度における新規利用者は微増にとどまり、特色である機能訓練サービスを全面に押し出すことができませんでした。しかし、現利用者における機能訓練計画の進捗や成果報告を3ヶ月ごとに実施し、ご家族とも連携を図り、継続的・効果的な訓練ができました。</p> <p>② 昼食準備・配茶・おしぼり配り・テーブル拭き・タオルたたみ・プリント折り・食器洗いなど残存機能の維持・向上を目的とした生活リハビリを幅広く実施しました。</p> <p>③ 富士見市の介護予防・日常生活支援事業の動向に注視しながら、総合事業へ移行する要支援者のサービス内容の充実（体操・歩行訓練・趣味活動）に努めました。</p>
(2) 稼働率の維持・向上に向けた取組	<p>① 28年度稼働率の平均は73.9%となり、77%の目標には届きませんでしたが、10月以降80%台を超える月もあり、冬季の落ち込みについては例年に比べ少なくなりました。引き続き、利用者の幅広い期待に応え、かつ新規利用者を増やすことで、目標を超える利用につなげます。</p> <p>② スタンプラリー、個別の外出行事、ケアマネ・家族への報告書、新規利用者の初回の様子報告などの新サービスを実施し、サービス充実を図りました。今後も刷新しながら継続します。</p> <p>③ むさしのデイサービスに利用者を任せると言われるよう、事業所への定期営業や活動誌の実績案内などを通して、サービス周知を図り新たなつながりを開拓しました。</p>
(3) 専門職としてのケアの充実 ① 相談	<p>① PDCAサイクル（Plan・Do・Check・Act）を強化し、ADLに応じた、質の高い支援につなげました。</p> <p>② サービス担当者会議や地域ケア会議に参加し、利用者の地域での暮らしの課題を話し合い、QOL（生活の質）向上につなげました。</p> <p>③ 必要な情報を多職種へ少しでも早く連絡・報告・相談することを心掛け、</p>

	<p>利用者・家族・職員から求められた個別ケアサービスへの対応も首尾よく実施しました。</p> <p>④ 居宅介護計画書が変更された場合は通所介護計画書を更新し、利用者・家族に交付しました。今後も、ADL変化や利用者の希望など気になることがあればケアマネへ報告し、居宅介護計画書と通所介護計画書が常に連動するよう努めます。</p> <p>⑤ 相談・苦情があれば、真摯に耳を傾け、お互いが納得のいく解決に向け、迅速・適切に対応しました。</p> <p>⑥ 今年度は中重度・認知症加算の算定要件を満たしませんでした。</p>
② 医務	<p>① 利用を通して継続的な健康チェック、排泄・服薬・食事量や栄養管理、皮膚や怪我の治療、生活のリズム整えるなど、生活の基本部分を支援しました。また、利用者1人ひとりの情報（身体状況・服薬など）を有効活用できるよう常に整理を行ない、継続的な支援につなげました。</p>
③ 介護	<p>① 内部研修には必ず参加し、知識・技術の向上に努めました。利用者リクエストの多い音楽レクリエーションの外部研修に参加し、歌を唄う機会が増えました。</p> <p>② デイサービス会議の議題を予め整理し、提示することで会議での意見交換がより活発となり、支援向上にもつながりました。</p> <p>③ 事故予防や重傷化を防ぐための取組みの1つヒヤリハット報告について、適宜作成と職員への周知という意味では不十分でした。作成を通して支援を振り返り、同じ過ちを繰り返さない意義を、引き続き職員へ周知していきます。</p> <p>④ 口頭や書面で得られた情報を迅速・正確に共有することで利用者の個別支援向上につなげました。</p> <p>⑤ 職員一人一人が、個々の支援の方法をもう一度振り返り、自宅での自立支援につなげる支援をしました。（趣味活動・残存機能活用・生活リハビリ）</p>
④ 接遇	<p>① 明るい笑顔・挨拶、丁寧な言葉遣い、気の利いたさりげないサービスなどを通して利用者や家族が心地良いと思うサービスを提供しました。</p>

ヘルパーステーション

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 稼働率の維持・向上に向けた取組	<p>① 年間を通して延べ利用回数平均317回。新規利用10件ありましたが、目標達成に至りませんでした。職員の退職・異動等あり、新規利用者の希望訪問日時等の対応ができないことが多くありましたが、曜日や</p>

<p>(2) 苦情・相談対応</p>	<p>時間の変更については可能な限り振り替え利用での対応をしました。</p> <p>② 実績については、必ず居宅事業所を訪問し利用者の報告をしました。又、日々の報告等は、電話のみでなく FAX 等も活用し早急に報告できるように対応しました。</p> <p>③ 利用者・家族・ケアマネジャーからの情報や、実施記録から内容を確認し良質なサービスが出来ているかの確認、必要時ヘルパーへの助言や指導を行いました。</p> <p>④ 利用者の誕生日にあわせて、折り紙で手作りの吊るし飾りとメッセージを贈り、とても喜ばれました。</p> <p>⑤ 職員の退職・異動に伴い適宜職員募集を行いました。充足するには至りませんでした。今後も利用者・家族のニーズに対応できる体制を整えます。</p> <p>⑥ 日常生活総合事業の概要確認・事業所内への周知のため、保険者主催の説明会に参加しました。内部でも他部署と確認を行いスムーズに移行できるように準備しました。</p> <p>① 苦情・相談対応に対して、ヘルパーからも内容確認すると共に、利用者・家族に早急に対応出来るよう努めました。管理者が直接訪問する等の対応をし、職員間への周知は必ず行いました。又、必ずケアマネジャーにも報告しました。</p> <p>② 苦情・相談は傾聴の姿勢で対応し、内容により一方的にならないよう詳細を記録するよう努めました。</p>
<p>(3) 職員の資質向上の取り組み</p>	<p>① 月1回ヘルパー会議を開催し事例検討や情報交換・共有等を行えました。</p> <p>② 外部研修の調整・手配ができず3名が1回のみ参加となりました。</p> <p>③ 業務内容の報告・連絡・相談の他、情報が直ぐに閲覧できるようファイリングし資質向上に繋がるよう整備しました。</p> <p>④ 第一に利用者の状態変化等の観察と必要時の早急な報告を徹底し、サービス内容・ケアプランの変更の必要性に繋がるよう対応しました。</p> <p>⑤ 訪問時、利用者の様子観察をしっかり行ない、ヘルパー間で情報交換することで普段との違いの確認ができ、報告に繋げることが出来ました。</p> <p>⑥ 職員同士の情報交換で不足がある際は、助言や対策検討を行いました。</p> <p>⑦ 総合事業に向けての研修は行えませんでした。日々、全職員が身体介護を安全かつ快適にサービス提供が出来るように、ヘルパーに対応の指導・助言を行いました。</p> <p>⑧ 待遇マナーを意識し、利用者の人権や自己決定を尊重できるよう努め</p>

(4) リスクマネジメントの重要性	<p>ました。自立支援を念頭におきながらサービス内容を確認し、職員間でも検討する等を行いました。</p> <p>① 利用者宅の備品の破損が数回ありました。報告書を作成し訪問時の問題点を考え、助言・再発防止に努めました。</p> <p>② 緊急時マニュアルを再作成し、各ヘルパーが所持するようにしました。又、ヘルパー会議等で内容の確認や検討を行いました。緊急対応した時の内容は報告・周知しました。</p> <p>③ 職員間の情報交換や記録等からリスクが考えられることは、助言や対応の確認をすると共に、予測することを行い予防に努めました。</p>
-------------------	---

居宅介護支援事業

重点目標及び課題	具体的取組み						
(1) 稼働率の維持・向上に向けた取組	<p>① 4月にケアマネジャーが1名入職、4人体勢でスタートしました。事業所枠での持ち件数の上限が広がり、作成率が60%台に落ち込みました。しかし、適宜受け入れの調整をした結果、3月時の作成率は91%となり、年間の平均も82.4%に回復、目標の80%を超えることができました。</p> <p>② 地域包括支援センターと連携を図りながら、可能な限り新規案件を受け入れました。28年度は、他圏域の地域包括支援センターからの受け入れも積極的に行い、プラン作成率の向上につなげました。</p> <p>③ 平成29年度、日常生活総合事業が開始するにあたり、定期訪問等で事業説明を行いました。利用者・家族の制度への理解・熟知はまだまだのため、聞かれたことには答えられるようにし、今後も周知活動に努めます。</p>						
(2) 事業所内の連携	<p>① 特定事業所集中減算の80%超に気を付け、特定の事業所へ偏らないように紹介した結果、以下のような紹介率となりました。</p> <p>※自事業所への紹介率（28年度平均）</p> <table data-bbox="539 1576 925 1711"> <tr> <td>通所介護</td> <td>56.4%</td> </tr> <tr> <td>訪問介護</td> <td>58.4%</td> </tr> <tr> <td>短期入所生活介護</td> <td>59.1%</td> </tr> </table> <p>② 担当外でのサービス調整や相談があった場合に備えて、動きがある可能性の高い案件は、専用の書面に残し誰もが対応できるように心掛けました。</p>	通所介護	56.4%	訪問介護	58.4%	短期入所生活介護	59.1%
通所介護	56.4%						
訪問介護	58.4%						
短期入所生活介護	59.1%						
(3) 相談・苦情の援助体制	<p>① 自事業所への利用者・家族からの苦情・相談については、今年度2件あり、主にケアマネジメントについて貴重な意見を頂きました。管理者(苦</p>						

<p>(4) ケアマネジメントのスキルアップ</p>	<p>情受付担当者) が対応し、担当と協力しながら内容の把握・解決に努めました。</p> <p>② 他事業所への苦情についての対応策の検討は、ケアマネジャーが対応を決め指示するよりも、各事業所が自助努力で対応策を検討するように促しました。同時に、ケアマネジャーも間に入り、適宜助言ができるような姿勢で対応しました。</p> <p>① ケアマネジメントのスキルを向上するために、以下の研修に参加・自己研鑽しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員レベルアップ研修 1名 ・リスクマネジメント研修 1名 ・パーソンケア研修 1名 ・介護支援専門員質問力向上研修 2名 ・介護支援専門員更新研修 1名 <p>その他、地域包括支援センターや富士見市ケアマネジャー連絡会主催の研修会に適宜参加。</p> <p>② 利用者・家族のニーズを把握するためにサービス担当者会議を開催しました。会議では、各自の認識がずれていないか、利用者がどのような思いをしているのかの確認・調整を行いました。最初から本心を出さない利用者には、コミュニケーションを図りながら、少しずつ関係の構築に努めました。</p> <p>③ サービス担当者会議時の進行・管理能力については、事業所に遠慮して意見が言えず、知識不足から適切な質問ができなかったことがありました。しかし、その中でも利用者・家族の気持ちを引き出す努力をした結果、各関係者が理解周知を行え、今後の支援につながったケースもありました。</p> <p>④ ケアプラン短期目標について、介護認定有効期間の半分を目安に見直しを行い、利用者・家族へ交付・評価することに努めました。評価した結果、目標の継続が多かったことも事実ですが、改めて家族とケアプランの確認を行ういい機会となりました。今後はさらに達成度が確認できる具体的な目標を設定し、利用者の自立支援につなげます。</p>
----------------------------	---

地域包括支援センター

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合相談支援業務	<p>① 総合相談支援</p> <p>重度化してからの相談も増加し、早期に関係機関と連携しながらスムーズな移行や早期に方向性ができるよう配慮した結果、総合相談件数としては 1998</p>

件と減少となりました。南畑地域をはじめ、ふじみ野駅周辺等と、地域特性も多様で、かつ他の4包括合計分の広域エリアをカバーしているため、訪問は車使用が多く、移動に費やす時間も読み込み対応に努めました。地域包括ケアシステムの中核機関としての地域包括支援センターの責務として、誰もがいつでもどこに相談をすればよいのかを周知していく必要があります、かつ安心して相談できる施設として、出前講座を14回（述べ455人）開催し広く地域への周知活動を継続しました。南畑地区社会福祉協議会と連携している南畑健康講座は5年目となり定着化し今後も要望に応じていきます。

出前講座、 介護予防講 座	年14回実施 455人参加 (内介護予防講 座9回実施) [内容] 介護予防 介護保険制度 地域包括 認知症の予防 消費者被害 交通安全 季節の健康等	4月 ふれあいサロンひろば(渡戸) 5月 勝瀬地区社会福祉協議会総会 6月 老人福祉センター 6月 渡戸喜楽会 6月 渡戸3丁目町会 9月 渡戸東町会敬老会 10月 渡戸第3サロン 11月 羽沢1丁目サロン 11月 勝瀬パワーアップ 2月 渡戸第3丁目町会 2月 渡戸第2ふれあいサロン 2月 ふじみ野ふれあいサロン 2月 サロンはるな 3月 羽沢2丁目町会交流会
出前相談会	2日間実施 測定等71人 相談8人	3月 南畑ふるさとまつり 介護、福祉、健康相談等 血圧、握力測定
南畑健康講 座	第1～5町会 町会ごとに開催	1月27日～2月10日 「生活習慣病と食生活」「包括、消費者 被害、交通安全アドバイス」 参加者99人

② 実態把握

地域ニーズの把握に努め、当事者が気づくことが少ない潜在的ニーズを早期発見し支援に繋げること等を念頭に336件実施しました。他圏域のような住宅地でのローラー的に訪問できない町会地域もあり、効率化や数値だけではなく地域特性を把握していくことに努めました。

③ 地域におけるネットワーク構築

関係機関等とのネットワーク構築と連携強化を継続し、情報交換会等も実施しました。28年度から地域密着事業所の運営会議に出席し、地域の実情や提言、意見交換等を行い地域連携しました。

	民生委員との情報交換会 2回	6月 9月	水谷・南畑地区民生委員協議会 勝瀬地区民生委員協議会					
	地域密着運営推進会議 7回	6月、12月 6月、1月 12月、3月 9月	認知症DS「田賀寮」 地域密着DS「わたどハウス」 地域密着DS「はるな苑」 地域密着DS「DS南畑」					
(2) 権利擁護業務	<p>① 高齢者虐待への対応</p> <p>認知症の妻を介護する夫の不適切な介護があった高齢者夫妻が2組、母親を介護する長男からの不適切な介護があった1組、介護者サロン協力者からの相談等があり、早期の情報収集と状況確認を行い市と連携しました。認知症への理解のために、認知症サポーター講座や、出前講座等で理解を得る機会の啓発を行い、医療と介護の連携強化や、地域における支援体制の構築も図りました。</p> <p>② 消費者被害防止</p> <p>複雑・巧妙化する高齢者をターゲットとした詐欺等は、介護予防講座や出前相談等では地域からのリアルタイムな情報提供を行い、被害防止のための普及・啓発を行いました。</p> <p>③ 成年後見制度</p> <p>介護支援専門員等が介入している事案があり、専門職とのネットワークを構築しながら継続しました。また、成年後見センターの成年後見実務者会議に出席し、情報交換と連携構築を行いました。</p>							
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	<p>① 介護支援専門員の後方支援としてのセンターの役割以外にも、10月に実施した研修会は69人の介護支援専門員の参加を得て、ケアマネジメント向上に資するための支援をしました。</p> <table border="1" data-bbox="513 1429 1391 1626"> <tr> <td rowspan="2">ケアマネ研修会</td> <td>6月</td> <td>第3、4、5圏域合同開催</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>第1、2圏域と合同開催 「課題整理総括表について」日本総合研究所講師</td> </tr> </table>			ケアマネ研修会	6月	第3、4、5圏域合同開催	10月	第1、2圏域と合同開催 「課題整理総括表について」日本総合研究所講師
ケアマネ研修会	6月	第3、4、5圏域合同開催						
	10月	第1、2圏域と合同開催 「課題整理総括表について」日本総合研究所講師						
(4) 介護予防ケアマネジメント業務	<p>① 二次予防事業対象者への支援</p> <p>二次予防事業対象者把握や、教室参加者への対応として、電話・訪問では述べ140件、教室参加者（平成27年度からの継続参加者を含む）は30人にのぼり、参加終了後には自立した生活が可能ないように地域資源の情報提供や関係機関へ繋げました。</p> <p>② 介護予防給付の対象者への支援</p> <p>予防プランは、自プラン実人数41人335件、委託実人数87人659件</p>							

(5) 地域ケア会議の実施

となり、年々微増しています。自プラン作成目標は30人で、平均27.9人となりましたが、市の指導もあり、センターの基本事業遂行に支障のないように実施しました。

- ① 「地域ケア圏域会議」では、認知症の方が地域で関わっていくための事例を通し地域課題の発見・把握や地域支援ネットワークを構築しました。認知症の方がありのままに地域交流していくには、専門職だけでなく地域住民の支援が必須であることが確認されました。「地域ケア個別会議」は、介護支援専門員が担当する要介護者の自立支援に資するケアマネジメント支援を、介護サービス事業者、高齢者福祉課等の出席で開催しました。「介護予防支援地域ケア会議」では、要支援者への自立支援に資するケアマネジメント支援を目的にセンター自プラン事例を提供しました。

地域ケア会議	センター開催	地域ケア 圏域会議	地域事例	3回
		地域ケア 個別会議	要介護プラン	3回
	市開催	介護予防支援地域ケア会議	要支援プラン	2回
			年合計	8回

各センターに1名配置の認知症地域支援推進員は、認知症の方や家族の支援や、関係機関との連携をはじめ医療と介護の連携強化や、地域における支援体制の構築に努めました。

(6) 認知症総合支援

- ① 認知症の正しい理解についての普及啓発

出前講座や認知症サポーター講座では、地域の連帯への取り組みや高齢者見守りネットワークへの協力へとつなげました。その結果、31件の承諾を得ました。

中学生認知症サポーター養成講座では、5包括初となる東中学校（3年生向）で市・5包括合同開催し、担当圏域である当センターが進行等行いグループワーク実施、普及啓発に努めました。

- ② 認知症相談窓口の充実

出前相談会では「もの忘れ相談」も併設しましたが、早期発見・早期対応が必要な深刻な相談はありませんでした。認知症初期集中支援チームメンバーとしては、高齢者夫妻への支援を市や専門医療機関等と連携し、必要な医療や介護の導入・調整、家族支援など、初期に包括的・集中的に支援しました。

「オレンジカフェ」は、センターの地域特性でもある広域をカバーするため、公共施設の老人福祉センターで開催し、隔月6回開催に加え、歩いて参加できる町会集会所で9月から隔月開催しました。

項目	開催月	場所・対象
認知症サポーター養成講座 3回開催 67人養成	12月、2月	羽沢1丁目町会 (17人、33人計50人)
	11月	シティヴェールふじみ野町会 (17人)
中学生向養成講座 5包括合同	10月	東中学校3年生 (100人)
認知症相談	随時	出前相談会等
オレンジカフェ 2か所開催 計9回 述べ202人参加	奇数月年6回 (5月～) 偶数月年3回 (9月～)	・老人福祉センター (述べ136人参加) ・渡戸3丁目集会所 (述べ66人参加)
認知症地域支援推進 員会議	5,6,7月	市、5包括の認知症地域支援 推進員

(7) 生活支援体制整備

① 生活支援体制整備事業

平成29年1月には、市民フォーラムの開催や、会議等への4度に渡る出席、多様な主体による多様なサービスの提供推進を地域全体で目指す事業を体制整備するため、協議会メンバーとして取り組みました。

(8) 家族介護支援

① 介護者教室の実施

11月に2回開催、64人の参加があり、介護者の精神・肉体両面の負担軽減のために、社会資源（人材も含む）の活用や関係機関とのネットワーク構築、介護者サロンともコラボレーションし、懇談会へと繋げました。

② 介護者サロン支援

介護者の負担軽減や、社会的交流の機会が得られるよう支援をしました。平成28年度市運営方針には、運営においてボランティア等に対する相談支援も加わりましたので介護者教室との連携に配慮しました。

項目	開催月	場所・対象
介護者教室 2回 64人	11月 南畑公民館 11月 ふじみ野交流	「介護のヒントを探してみま しょう」29人 「ひとりで介護?みんなで介 護?」35人
介護者サロン「窓陽」	11回	ふじみ野交流センター

<p>(9) その他</p>	<p>① 個人情報の保護等 情報の取扱いや管理は法令遵守のもと厳重管理し、他機関への情報提供や会議等では、特定できないような表現や提供回収を慎重に行いました。</p> <p>② 地域行事への参加・協力等 南畑地区社会福祉協議会の福祉委員として地区社協行事や、町会からの要請での行事参加は、年間9回以上となり、地域に開かれた法人施設として培った定評を損なわず、地域包括ケアシステムの中核を担えるよう、顔の見える関係づくりに配慮しながら運営に努めました。</p>
----------------	---

配食サービス

重点目標及び課題	具体的取組み
<p>(1) 在宅生活を支える事業としての構築</p>	<p>① むさしの配食と利用者・家族の食に対するニーズがマッチングした時は情報提供し、お試して試食を提供する試みを継続して行いました。</p> <p>② 利用者・家族からの配食に対する率直な意見を参考にして、サービス提供するように努めました。</p>
<p>(2) 地域社会への配食事業の周知</p>	<p>① 居宅介護支援事業所や高齢者あんしん相談センターにパンフレットを配布し、事業周知しました。他事業所との特色の違いをアピールし、ご利用者の方へ食の楽しみを提供できる配食事業にします。</p>

5 地域支援課

総合目標及び課題

人材の確保と安定した事業運営を目指します。

小規模多機能型居宅介護

重点目標及び課題	成果																		
(1) 稼働率の維持・向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間稼働率 81.8%に留まり、現状の定員である 22 名まで届かず、定員を上げることができませんでした ② 定員に合わせた人員配置を行うことはできたが、定員を上げるために必要な職員数の獲得はできませんでした。 																		
(2) 訪問体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 本年度ホワイトボードを活用し、通いの送迎の対応者や訪問内容などが明確になり、業務をスムーズに行うことができました。 																		
(3) 小規模内の利用者に対する職員の意識の強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月 1 回小規模多機能会議を実施し、職員間で利用者の支援内容について意見交換をしました。 ② 小規多機能の理解を深める目的の研修を実施することはできませんでしたが、会議内で柔軟な支援が行えるように支援の方向性を示すことができました。 																		
(4) 余暇活動のプログラム化	<ul style="list-style-type: none"> ① 余暇活動の時間を決めて実施する事はできませんでした。優先すべき事項が起きた際、短時間でもご利用様が楽しめるようにゲーム・歌等行いました。 ② マニュアルを作成する事はできませんでした。職員全員が実施・対応出来ていますが、来年度は物品の購入を行い、準備・対応します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>行事</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月2日(土)</td> <td>花見 参加者 15 名</td> <td>川越運動公園での花見 外食</td> </tr> <tr> <td>5月5日(木)</td> <td>端午の節句</td> <td>鯉のぼり作成 菖蒲湯</td> </tr> <tr> <td>5月28日(土)</td> <td>ひだまりホーム パーティー 参加者 16 名 家族 7 名</td> <td>スープ餃子、あんみつ、ミニホット ドッグ、焼きそば、フライドポテト、 鶏肉のトマト煮、サラダ、握り寿司、 炭火焼き 写真掲示</td> </tr> <tr> <td>6月13日(月)</td> <td>運動会 参加者 5 名</td> <td>施設内で 4 種類の競技を競う</td> </tr> <tr> <td>7月7日(木)</td> <td>七夕</td> <td>歌・紙芝居 笹に短冊を吊るす</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	行事	内容	4月2日(土)	花見 参加者 15 名	川越運動公園での花見 外食	5月5日(木)	端午の節句	鯉のぼり作成 菖蒲湯	5月28日(土)	ひだまりホーム パーティー 参加者 16 名 家族 7 名	スープ餃子、あんみつ、ミニホット ドッグ、焼きそば、フライドポテト、 鶏肉のトマト煮、サラダ、握り寿司、 炭火焼き 写真掲示	6月13日(月)	運動会 参加者 5 名	施設内で 4 種類の競技を競う	7月7日(木)	七夕	歌・紙芝居 笹に短冊を吊るす
実施日	行事	内容																	
4月2日(土)	花見 参加者 15 名	川越運動公園での花見 外食																	
5月5日(木)	端午の節句	鯉のぼり作成 菖蒲湯																	
5月28日(土)	ひだまりホーム パーティー 参加者 16 名 家族 7 名	スープ餃子、あんみつ、ミニホット ドッグ、焼きそば、フライドポテト、 鶏肉のトマト煮、サラダ、握り寿司、 炭火焼き 写真掲示																	
6月13日(月)	運動会 参加者 5 名	施設内で 4 種類の競技を競う																	
7月7日(木)	七夕	歌・紙芝居 笹に短冊を吊るす																	

	8月8日(土)	外出行事 参加者 14名	ららぽーと富士見での買い物・食事
	9月3日(土)	星空シアター 参加者 7名	ステージ鑑賞 模擬店で購入
	10月22日(土)	外出行事 参加者 13名	川越市立博物館 外食
	12月18日(日)	もちつき 参加者 16名 家族 4名	もちつき ついた餅を食べる
	12月23日(金)	クリスマス会	ハンドベル演奏 手作りキーホルダープレゼント
	1月14日(土)	新年会 参加者 17名 家族 2名	ボランティアによる出し物 ・どじょうすくい ・大正琴
	2月3日(金)	節分	豆まき ゲーム
	3月3日(金)	ひな祭り	ひな壇前での写真

地域密着型特別養護老人ホーム

介護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人員配置の安定	<p>① 職員体制を確保する為、介護職員常勤 10名の体制を整えることができました。業務評価面接を年度内に 3回実施することで全職員と話すことができました。</p> <p>② (内部研修) 手洗い衛生研修、褥瘡研修、入浴事故防止研修、感染症対策研修、事故予防研修に参加しました。 (外部研修) 「介護職員 1年目研修」、「ユニットケア研修」、「初任者キャリアパス研修」、「ナレッジメント研修」、「新任介護職員定着支援事業研修」、「アンガーマネジメント研修」に職員それぞれが参加しました。</p> <p>③ 長期計画の作成はできませんでしたが、人員確保ということで成果を上げることが出来ました。</p>
(2) 職員育成	<p>① マニュアル作成まではいきませんでした。指導する側の職員が何をポイントに伝えていけばよいのか一覧表にすることで、明確化することができました。</p> <p>② 指導担当であるユニットリーダーと入職してから1か月・2か月・3か</p>

<p>(3) ユニットケアへの取り組み</p>	<p>月と節目で計3回の面談を設けました。相談しやすい・不安点や不明点を確認しやすいなど、双方にとって有効な機会を持つことができました。</p> <p>① 意識確認の場としかかったユニット会議を毎月開催することはできませんでしたが、会議内で再認識できたこともありました。来年度は勤務表作成時点で開催日を調整します。</p> <p>② 対応一覧表を見ながらの業務ができませんでした。参照する職員がいないため、見直し・変更することもできませんでした。ただし、新規入居の際は白紙に対応したことや入居者の意向・好みなど情報共有のために記入する方法は定着しました。</p>															
<p>(4) スキルアップ</p>	<p>① 自分たちが講師となつての内部研修は実施してできませんでしたが、OJT を使用しての新人指導については新たに様式を準備し、個別面接をするなど今までと違った取り組みをしました。</p> <p>② 改めて意見交換する場を設けることはなく、朝礼・夕礼を利用しての数分間に留まりました。職員の技術レベルに差があるため、統一したケアができず、一定水準を維持できるようにすることが課題として残りました。</p> <p>③ 少ない職員人数の中で新入職の指導・育成に時間を割いたこともあり日々の業務をこなすことで精一杯でした。話し合う機会、職員間でのコミュニケーション不足が課題として残りました。</p>															
<p>(5) 年間の催し</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>予定</th> <th>実施日／内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>お花見</td> <td>ユニットごとに実施 大應寺でお花見</td> </tr> <tr> <td>5月5日(木)</td> <td>端午の節句</td> <td>鯉のぼり鑑賞 菖蒲湯</td> </tr> <tr> <td>5月28日(土)</td> <td>ひだまりホームパーティー(家族参加)</td> <td>スープ餃子、あんみつ、ミニホットドッグ、焼きそば、フライドポテト、鶏肉のトマト煮、サラダ、握り寿司、炭火焼き 写真掲示</td> </tr> <tr> <td>6月13日(月)</td> <td>運動会</td> <td>ユニット対抗競技 ・箱の中身当て ・缶積み上げ競争 ・玉入れ ・ボール回し</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	予定	実施日／内容	4月	お花見	ユニットごとに実施 大應寺でお花見	5月5日(木)	端午の節句	鯉のぼり鑑賞 菖蒲湯	5月28日(土)	ひだまりホームパーティー(家族参加)	スープ餃子、あんみつ、ミニホットドッグ、焼きそば、フライドポテト、鶏肉のトマト煮、サラダ、握り寿司、炭火焼き 写真掲示	6月13日(月)	運動会	ユニット対抗競技 ・箱の中身当て ・缶積み上げ競争 ・玉入れ ・ボール回し
実施日	予定	実施日／内容														
4月	お花見	ユニットごとに実施 大應寺でお花見														
5月5日(木)	端午の節句	鯉のぼり鑑賞 菖蒲湯														
5月28日(土)	ひだまりホームパーティー(家族参加)	スープ餃子、あんみつ、ミニホットドッグ、焼きそば、フライドポテト、鶏肉のトマト煮、サラダ、握り寿司、炭火焼き 写真掲示														
6月13日(月)	運動会	ユニット対抗競技 ・箱の中身当て ・缶積み上げ競争 ・玉入れ ・ボール回し														

			・職員対抗 昼食はお弁当形式
	7月～8月	夏祭り（各地区）	台風の影響で雨天中止多く、開催自体なしになってしまった 6か所の夏祭りに参加入居者8名+家族3名参加となった
	7月7日（火）	七夕	短冊飾り 星型ゼリー作り
	8月8日（月） 9日（火）	花火	地域の方との交流会 かき氷、フランクフルト提供
	9月	ユニット行事 催しもしくは外出	9月はユニット行事 未実施
	9月～10月	敬老会（各地区）	敬老会の開催が減少 入居者や家族の希望で不参加が多かった 8か所の敬老会に参加 入居者8名+家族2名
	11月8日（火）	すいせんユニット 行事	ユニット内で調理
	11月9日（水）	こすもす外出行事	ららぽーと富士見へ外出
	11月23日（水）	ひまわりユニット 行事	ユニット内で調理
	12月第4週	冬至	ゆず湯の提供
	12月18日（日）	餅つき（家族参加）	お餅バイキング 4種類の提供
	12月25日（日）	クリスマス	ボランティアによるハーモニカ 演奏 クリスマスケーキ作り
	1月14日（土）	新年会（家族参加）	ボランティア2組による余興披露 ・どじょうすくい ・大正琴
	2月3日（金）	節分	ユニットごとに豆まき
	3月3日（金）	ひなまつり	雛人形の鑑賞 桜餅・雛あられ提供 桜餅は地域の和菓子屋のものを 注文

看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入居者の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 入居者の体調不良には早めに受診対応し、重症化することを防げました。 ② 情報交換は看護職員の入れ替わりがあり、関係の再構築に時間がかかり、不十分でした。途中からはユニットリーダーと情報交換しながら対応しました。
(2) 他職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 目標を明確にする場が少なく、目標を統一しました。 ② サービス提供はできませんでしたが、情報交換をしながら、確認して対応しました。 ③ 情報の共有という事ではまだ不十分で今後も課題が残りました。随所に医療的な面でのアドバイスはできました。 ④ ユニット会議やケース会議にて、入居者の状態に合わせた対応に変更しました。 ⑤ 他職種とのコミュニケーションを取れる体制をつくることはできませんでしたが、専門職としての意見を確認しながら、対応変更しました。
(3) 職員への医療教育とスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護師の入れ替わりが合った為、出来た職員と出来なかった職員がいましたが、定期的に研修が出来るような体制作りを準備しています。 ② 現職員 2 名体制になった後は、密な情報交換の機会が増えました。引き続き継続します。

相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 稼働率の維持・向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 新規入居者 8 名、退去者 8 名で空床期間 109 日あり、前年度より多い日数となりました。入院者は延べ 12 名で空床期間 148 日でした。日数は前年度より減少し年間の稼働率は 97.2%で目標を下回りました。 ② 入居前に入院歴を把握して事前の情報として対応しましたが、入院者が減少するといった効果はありませんでした。 ③ 空床期間の活用でショートステイの利用が延べ 3 名で 8 日間の利用がありました。ショートステイの需要は少なく、空床の活用が十分にできませんでした。
(2) 他職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ① ユニットごとに行っている月 1 回のケースカンファレンスを滞ることなく実施できました。カンファレンスでは他職種間で意見交換することで連携強化に繋がりました。 ② 入居者の生活継続を目標に入居者の希望や施設での催しなどで協力して対応しました。

<p>(3) 家族との連携</p>	<p>① 必要な連絡は出来るだけ速やかに対応し、面会時の情報を伝えることで何人かのご家族とは信頼関係ができました。一方で施設への面会や要望が少ない方への関わり方については今後の課題として残りました。</p> <p>② 誕生日や催し、地区夏祭りや地区敬老会への参加など、入居者の希望を実現する為にご家族に協力して頂きながら実施しました。</p>																																																
<p>(4) 地域交流の促進</p>	<p>① 地域夏祭り、敬老会、地域防災訓練、水谷文化祭などを通じて、地域交流を図り、施設を知ってもらう機会を作りました。</p> <p>② 新規ボランティア 3 団体、社会福祉実習生 1 名の受入れを実施。定期ボランティアは 180 回、延べ人数 249 名となり、回数は昨年より、増加しました。</p> <p>③ 介護支援ボランティアとして 3 名を受入れ、継続して活動した。</p> <table border="1" data-bbox="486 757 1372 1939"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>活動回数(回)</th> <th>延べ人数(名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活支援 島貴氏</td> <td>51 回</td> <td>51 人</td> </tr> <tr> <td>生活支援 黒田氏</td> <td>40 回</td> <td>40 人</td> </tr> <tr> <td>生活支援 鈴木氏</td> <td>8 回</td> <td>8 人</td> </tr> <tr> <td>生活支援 毛塚氏</td> <td>21 回</td> <td>21 人</td> </tr> <tr> <td>生活支援 名嘉真氏</td> <td>4 回</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>生活支援 渡辺氏</td> <td>3 回</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>傾聴ボランティア</td> <td>35 回</td> <td>39 人</td> </tr> <tr> <td>邑水会(民謡)</td> <td>5 回</td> <td>23 人</td> </tr> <tr> <td>フラダンス</td> <td>1 回</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>花子の会(民謡)</td> <td>3 回</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td>ハーモニカ</td> <td>1 回</td> <td>8 人</td> </tr> <tr> <td>大正琴※新規</td> <td>2 回</td> <td>10 人</td> </tr> <tr> <td>オカリナ※新規</td> <td>4 回</td> <td>20 人</td> </tr> <tr> <td>どじょっこ会(どじょうすくい)※新規</td> <td>2 回</td> <td>6 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>180 回</td> <td>249 名</td> </tr> </tbody> </table>	クラブ名	活動回数(回)	延べ人数(名)	生活支援 島貴氏	51 回	51 人	生活支援 黒田氏	40 回	40 人	生活支援 鈴木氏	8 回	8 人	生活支援 毛塚氏	21 回	21 人	生活支援 名嘉真氏	4 回	4 人	生活支援 渡辺氏	3 回	3 人	傾聴ボランティア	35 回	39 人	邑水会(民謡)	5 回	23 人	フラダンス	1 回	5 人	花子の会(民謡)	3 回	11 人	ハーモニカ	1 回	8 人	大正琴※新規	2 回	10 人	オカリナ※新規	4 回	20 人	どじょっこ会(どじょうすくい)※新規	2 回	6 人	合計	180 回	249 名
クラブ名	活動回数(回)	延べ人数(名)																																															
生活支援 島貴氏	51 回	51 人																																															
生活支援 黒田氏	40 回	40 人																																															
生活支援 鈴木氏	8 回	8 人																																															
生活支援 毛塚氏	21 回	21 人																																															
生活支援 名嘉真氏	4 回	4 人																																															
生活支援 渡辺氏	3 回	3 人																																															
傾聴ボランティア	35 回	39 人																																															
邑水会(民謡)	5 回	23 人																																															
フラダンス	1 回	5 人																																															
花子の会(民謡)	3 回	11 人																																															
ハーモニカ	1 回	8 人																																															
大正琴※新規	2 回	10 人																																															
オカリナ※新規	4 回	20 人																																															
どじょっこ会(どじょうすくい)※新規	2 回	6 人																																															
合計	180 回	249 名																																															

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) チームケアの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ① 今年度は、リハビリ計画書作成する準備資料の作成までで終了しました。 ② 全職員との研修は実施できませんでしたが、新入職員とは実施しました。
(2) 身心の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ① リハビリ計画書を作成することができなかつたため、実行できませんでした。しかし、入居者担当のワーカーに聞かれた方に対しては、入居者のプログラムから、介護職員から口頭で伝えたり、紙面に記して実施しました。 ② 今年度は実施できませんでしたが、都度作業療法的なレクリエーションを実施しました。

委員会

・サービス向上委員会

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 食事形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ① 本年度は実施できませんでした。来年度は栄養課と意見交換を行い実施します。
(2) 行事、催し等の計画、起案作成	<ul style="list-style-type: none"> ① 年2回夏（花火大会）・秋（居酒屋）の行事をしました。来年度も実施します。
(3) 食事前の口腔体操の実施を行う	<ul style="list-style-type: none"> ① 小規模多機能に関しては確実に行いました。特養ユニットに関して出来ない事が多く、昼食前の準備中で時間をとることが難しいことが原因として考えられるため、来年度は短時間でも行います。

・衛生委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 感染症対策の確認・周知化	<ul style="list-style-type: none"> ① 新人職員に対して研修を行った際に現職員に対処方法を再認識しました。 ② 数回に分けて新人職員に対して研修を行いました。 ③ 研修日を調整してきたが開催はできませんでした。新人職員に対して不安の有無について確認しました。
(2) 看護との連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 医務側からも積極的に連携してもらい入居者の状態を一緒に把握しました。 ② 感染症に関してはここでの対処方法を理解してもらい、褥瘡に関しては

	ケアの時に気付いた事は医務に報告し連携して対処しました。
--	------------------------------

・事故発生防止委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 事故の周知・確認	<ul style="list-style-type: none"> ① 事故後のヒヤリハットでの確認、本人への状況確認をしました。関係者への報告もしていますが、対応の見直しについては同じ状況が発生した時に確実に防げる案が出せず、転倒が続くなどの改善ができないケースがありました。 ② 朝礼・夕礼で転倒状況の報告など職員間で情報共有しました。 ③ ヒヤリハットは職員全員理解していますが、その都度確認している職員が少なく、より簡単に確認できるシステム構築が今後の課題として残りました。
(2) 新入職者との情報連携	<ul style="list-style-type: none"> ① ヒヤリハットの作成を行いました。事故発生原因の追究を行いました。有効な手段を実施する事が出来ていないケースがありました。 ② 新しい職員と現職員との間で情報連携したつもりでいたが、うまく情報が伝わらなかった為か、同様の事故が新職員でも起きてしまったケースがありました。

・整容委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 物品管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 物品管理ノートの使用を継続し、不足の無いよう物品管理ができました。 ② 整容委員会だけではなく各職員に周知しました。
(2) 居室・フロアの清潔の保持	<ul style="list-style-type: none"> ① 居室の清潔保持についてはリネン交換後の清掃ができなかった為、再度周知します。清掃チェック表の掃除に関しては行えました。 ② リネン交換をした後の掃除機掛けはできている職員が少なく、引継ぎノートに記入しましたが周知には至りませんでした。再度周知します。
(3) リネン交換、包布の交換時期	<ul style="list-style-type: none"> ① 共同生活スペースの清潔保持はできています。食事後掃除機、すいせんのみ水モップで掃除行いました。 ② リネン交換は期間が空いている人から交換しました。 ① 薄掛け、厚掛けへの変更を年間のスケジュール化して各職員が理解できるようにリネン表に貼付しています。

・排泄委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 排泄ケアの統一	<p>① 新入職員をメインに、白十字アドバイザーの研修を設けることができました。そこで排泄ケア（パットの当て方等）についても学ぶことができました。</p> <p>② 他職員の介助の仕方を見る機会は設けられなかった為、全職員と学び合うことができませんでした。しかし一部職員間では、話し合うことが出来ました。</p> <p>③ 年2回（夏・冬）の尿測にて、入居者一人ひとりの排泄パターンを把握しました。以前より細目に、排泄アイテム・時間の見直しが行え、排泄ケアの統一に向けては一步前進できました。</p>
(2) 排泄ケアの統一による失禁の防止	<p>① 失禁自体を防止することはできませんでしたが、失禁させてしまう回数は減りました。</p> <p>② 引継ぎノート・書面での周知方法になってしまった為、なかなか全職員には統一ができませんでした。しかし一部の職員には、口頭で入居者一人ずつの説明ができました。</p>

・居宅介護支援事業

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の維持・向上の取り組み	<p>① 1年間を通して、新入職員の入職時期以外は目標としていた稼働率88%をほぼ維持できました。</p> <p>② 介護度3以上で施設入所が妥当と考えるケースが数件ありました。しかし、介護保険サービス以外の情報提供を行うことで、家族と協力して在宅生活を継続することができたケースがありました。</p>
(2) ケアマネジメント業務	<p>① 研修に積極的に参加したり、個人で書籍購入しケアマネジャーとしての自己研鑽に努めました。結果、外部機関から新規利用者紹介など受けることができました。</p> <p>② 今年度の入職者がほぼ未経験者のみでした。よって、未経験者でも理解しやすいファイリング管理としました。</p>
(3) 相談・苦情の援助体制	<p>① 問題発生時に、早期対応を行うことで上司に報告する苦情などありませんでした。</p>

・地域包括支援センター

重点目標及び課題	成果等
(1) 総合相談・支援事業	<p>① 総合相談への対応</p> <p>平成 28 年度の総合相談件数総数は 3470 件となり、実態把握訪問数は、相談があった件数も含め 403 件となりました。総合相談の内容も多岐にわたり、専門性の求められる相談も多く寄せられました。また水谷東地区では近隣医と協働して支援を実施し、在宅医療の重要性が年々高まっています。地域を把握することを目的として実態把握を実施していますが、結果として総合相談からの対応が殆どを占めました。件数増加には繋がらなかったものの、独居および高齢夫婦のみ世帯への実態把握も継続して実施しました。中には訪問後に緊急対応を実施したケースや、その後の介護保険の利用に繋がったケースなどもありました。</p> <p>② 地域支援とネットワーク構築への取り組み</p> <p>地域支援を進めていくうえで不可欠となる認知症への対応として、認知症地域支援推進員が各地域包括支援センターに設置となりました。地区担当者と連携して支援にあたっている。包括内での相談や同行訪問等を実施することで、密な支援が実施できました。</p> <p>平成 28 年度の地域ケア会議において、地域やご家族の認知症に対する理解が引き続き課題として上がりました。また地域との連携を図ることを目的とし、高齢者見守りネットワークの構築にも力を入れ、19 件の商店および事業所に依頼し、10 件の賛同を頂きました。</p> <p>水谷東ふれあいサロン委員会等、地域の会議にも参加しました。地域でどのような課題が上がっているか、情報収集の場としても機能しています。出張相談会は水谷公民館文化祭にて 2 日間にかけて実施し、水谷地区、みずほ台地区民協意見交換会にも、積極的に参加、情報交換や連携の場としました。</p>
(2) 介護予防事業対象者に対する介護予防マネジメント	<p>① 介護予防支援利用者への支援</p> <p>給付総数が平成 28 年 3 月では 81 件であったところ、平成 29 年 3 月には 90 件まで増加しました。自プラン、委託プランともに増加傾向が続きました。また地域により支援者数に大きく差が見られていることから、支援者数の多い地区担当者には負担が大きい状況が続きました。他地区担当者で受け持ちを実施し、また、要支援者を委託できる居宅介護支援事業所も少ない状況で、業務を圧迫している状況が続きました。地区によっては重度化するケースも多々あり、落ち着いた状況が続きました。</p> <p>② 二次予防事業対象者への把握・支援</p> <p>二次予防事業対象者の把握・支援の取り組みとして、延べ 25 件の対応を実施しました。その内、教室参加者は 13 名に上りました。平成 28 年度は基</p>

<p>(3) 権利擁護業務</p>	<p>本チェックリスト送付者を独居高齢者に限定したこともあり、参加者数は減少しています。参加された方の多くから、効果があったとの声を頂きました。介護予防講座を年 5 回実施し、講座の要望として「介護保険の利用方法」等が多く寄せられていますが、介護保険を安易に利用するのではなく、介護予防の視点を取り入れた講座を実施しました。介護保険本来の趣旨に基づく啓発活動が実施できました。</p> <p>① 高齢者虐待への対応 平成 27 年に比べると件数は減少傾向となりました。しかし数として上がっていない状況で、以前から関わっていたケースが刑事事件に発展したものや、介入時に加害者が意識不明の重体であったケースなど、全体的に重篤なケースが続きました。また相談として寄せられるケースの中には、既に介護保険サービスを利用しているケースもあり、関係各位の権利擁護に対する意識低下が懸念されました。</p> <p>② 消費者被害防止 地域訪問を実施していると、消費者被害に遭った、あるいは遭いそうになった、との話が多く聞かれました。また、消費者被害防止の観点より、出前講座や会議などで、啓発のためのチラシを配布しました。注意喚起および情報交換も実施しました。</p> <p>③ 成年後見制度 成年後見に関する相談は定期的に寄せられました。今年度は市によって成年後見センターも設置され、ネットワークを活用しての支援が可能となりました。認知症になってもいつまでも在宅で過ごすために、成年後見制度の利用は不可欠となっており、その支援に関して、親族やケアマネジャーあるいは専門職種にて相談をしながら実施しました。</p>
<p>(4) 包括的・継続的 マネ ジメント事業</p>	<p>① ケアマネジャーへの支援 ケアマネジャーからの相談は延べ 206 件に上った。支援についての相談が主となった。要請による要介護者の担当者会議出席数は 21 回。中には困難ケースへの対応等もあり、年々支援が複雑化している状況でした。居宅介護支援事業所へは 145 件取次・斡旋を実施しました。</p> <p>② ネットワーク作りの推進と強化 定期的に地域ケア会議を開催することで、圏域内のケアマネジャーとのネットワーク構築に努めました。またケアマネジャー対象の研修会を第 3・4 圏域と合同にて開催。平成 28 年度は介護予防プランの作成方法についての研修を実施しました。しかしケアマネジャーのアセスメントや自立支援のための考え方についての意識改革には至りませんでした。地域ケア会議等で提出される計画書についても、課題の抽出や把握自体ができていない場合が多</p>

<p>(5) 地域ケア会議の実施および参加</p>	<p>く、今後の大きな課題です。</p> <p>① 地域ケア会議の実施 平成 28 年度には、地域ケア圏域会議を 3 回、地域ケア個別会議を 3 回実施。圏域会議においては、高次脳機能障害や若年性認知症に関する協議を行い、地域課題の検討を実施しました。関係機関の連携や理解、また地域全体での認知症に対する理解に関して課題が挙げられました。個別会議では圏域内のケアマネジャーにプランを提供して頂き、プランの立て方や今後の方向性、考え方などの協議を行いました。また市が主体で行っている、介護予防支援地域ケア会議には、2 回プランを提出しました。</p>
<p>(6) 認知症総合支援</p>	<p>① 認知症相談窓口の充実 認知症でも住み慣れた地域で生活が継続できることが、今後の地域包括ケアに求められる大きな視点となりました。平成 28 年度は主に個別支援にて活動を実施し、また、出前相談会や介護予防講座にて周知活動を行いました。</p> <p>② 認知症への正しい理解についての普及・啓発活動 平成 28 年度は認知症を主題として、介護者教室を 2 回開催（前述）しました。地域での認知症に関する理解、普及活動に努めています。また地域ケア圏域会議においても、認知症やそれに類推するケースに関しての協議を実施しました。関係者間での理解にも繋がりました。5 包括合同にて小学生向けの認知症サポーター養成講座を開催しました。</p> <p>③ 認知症の方とその家族を支える体制の構築 平成 28 年度より「わいわい熟」をオレンジカフェとして開設しました。以前よりいらっしやっていたご家族やご本人、地域の方々にご参加頂きました。総合相談にてご家族等に案内を実施するも「知られたくない」との思いが強く、ご家族よりもご本人のご参加が多く見られました。</p>
<p>(7) 生活支援体制の充実に向けた二つの把握</p>	<p>① 生活支援事業 生活支援体制整備事業推進会議に 5 回出席しました。富士見市で現在行われている動きの把握や関連機関との連携に努めました。水谷東地区は平成 29 年 1 月より助け合いサービスが新たに開始される地区であり、今後の一つの指標となります。今後も引き続き関係機関と連携を図ります。また平成 29 年 1 月には、市民フォーラムが開催されました。</p>
<p>(8) 家族介護支援</p>	<p>① 介護者教室の開催 平成 27 年度の課題抽出より、地域やご家族の認知症に対する理解のため、介護者教室は認知症に焦点を当て開催。平成 28 年度の介護者教室では、認知症に関する講座を 2 回実施しました。水谷地区、水谷東地区において計 56 名の方にご参加いただきました。講座終了後に相談されるご家族もいら</p>

<p>(9) その他</p>	<p>っしやり、一定の成果が上がりました。</p> <p>② 介護者サロン・つどいへの支援 毎月第二水曜日に水谷公民館で開催されている、ボランティア等が運営している介護者サロン・つどいに参加し、情報提供や介護者相互の交流の支援などを行いました。</p> <p>① 危機管理について 独居ならびに高齢者世帯に配布されている救急連絡カードには担当の地域包括支援センターが連絡先として明示されており、訪問時等にその周知や訂正を行いました。また対応マニュアルに沿って実働できるよう、各職員の役割や他機関との連携について協議を重ねました。</p> <p>② 個人情報の管理 個人情報の管理には細心の注意を払って実施。情報提供時には、慎重に対応しました。</p> <p>③ 職員の能力向上と連携強化 職員の能力向上を目的とし、地域包括支援センターに関わりのある研修には積極的に参加し、専門性を高めました。また連携強化のため、定期的に話し合いの機会を設けました。</p>
----------------	--

6 栄養課

総合目標及び課題

- 品質の安定化に努めます。
- 豊かな食生活を提供します。
- 利用者個々の栄養状態をできる限り良好に保ち、食事の経口摂取が維持できるようにします。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ソフト食メニューの拡充と品質の安定化	<ul style="list-style-type: none"> ① 凍結含浸法を用いたソフト食の製造工程マニュアル化を行い、品質の安定を図ることができました。 ② 上記マニュアルに従い、味付きの状態でも柔らかくすることができました。 ③ ブロッコリー・カリフラワーの形が崩れないように軟化できるように努めました。 ④ 現在使用中の食材の種類が変わっていないので凍結含浸法の食材の種類においても増えていません。
(2) 安心安全な食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ① 調理における温度と時間の管理を確実にできるように記録簿を使用した管理と記録を行いました。 ② 調理工程の標準化に努めましたが、調理工程上改善すべき点はまだあると考えています。 ③ 出来上がり評価を客観的に行い、料理がより美味しくなるように努めます。
(3) 季節ごとの行事食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間行事計画に沿って行事食を実施しました。 ② 行事食以外にもお楽しみメニューを実施しました。 ③ 江戸前寿司、太巻寿司、稲荷寿司などを提供し利用者の食生活が豊かになるように貢献しました。
(4) 利用者が飲食を楽しめる場所の提供	<ul style="list-style-type: none"> ① お茶の時間に各ユニットで喫茶行事を行いました。 ② 居酒屋行事については実施できませんでした。外出できない利用者が外食をしたような体験を得ることができるよう、引き続き実施へ向けて行動します。
(5) 利用者栄養状態の把握	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の定期採血による結果を把握し、利用者の栄養状態が良好に保たれるようにしました。 ② 定期的（3ヶ月に一度）に栄養状態の再評価を行い、栄養状態の維持改善に努めました。 ③ 利用者の状態変化に合わせ、食事形態や量、栄養補助食品の付加など随時対応し、栄養状態を良好に保たれるようにしました。

(6) 経口維持管理	④ 上記3つの点に関しましては今後とも引き続き行います。 ① 加算内容に従い、入所者の栄養管理をするため食事観察等を行いました が、加算を取得するまでには至りませんでした。
------------	--